



# 児童養護施設で暮らす若者をサポート

# ミニバイト事業

子どもたちを  
応援するために、  
ワタシにできることを  
探そう!



県内15か所の児童養護施設の若者たちのうち、厳しい生育環境に伴う生きづらさがあったり、何らかの障がいを持っている若者たちを応援する「ミニバイト事業」(応援金付き就労体験事業)。就労体験を通して、自分の強みを発見し、自分らしい進路を模索する若者をやさしく応援する事業です。

ミニバイト事業は誰一人取り残さない、  
SDGsの実現に努めています!

なかの「地域課題解決  
チャレンジプロジェクト」

使途選択  
募金

## いただいた募金はこの活動に使います!

「ミニバイト」(15施設で各3人、1件上限2万円)を提供します。

目標金額

# 100万円

### ミニバイト(就労体験)に対する児童養護施設出身(在園・卒園生)の子どもたちの生の声

Voice  
1

施設を卒園する前に、  
なりたい自分を考え、  
バイト体験しておけば  
よかった。(卒園生Aさん)



Voice  
2

16歳で施設に入園、  
一銭もなかった。  
アルバイトでお金を  
得る自信もなかった。  
こんな体験があれば  
うれしい。(卒園生Oさん)

Voice  
3

施設の近くでアル  
バイトして、お金が  
たまったら運転免許  
を取りたい。  
(在園生Yさん)



Voice  
4

いろいろ苦手なことも  
あるけれど、自立に向け  
て自信ができました。  
やりたいことが  
見つかりました。  
(在園生Iさん)

### 若者サポートプロジェクトとは

ミニバイト事業は長野県社会福祉協議会が実施する「若者サポートプロジェクト」(2022年6月始動)の一環として生まれました。

「若者サポートプロジェクト」は社会的養護出身の若者たちの住まい、就労、お金などの困りごとを、包括的に支援するプロジェクトです。

「ミニバイト」は、児童養護施設や里親のもとで育つ高校生が、自立する前に、バイトの体験を通して、少しでも社会に触れ、貯金もでき、自分自身の未来に向けてのステップとなるために必要な事業だと、児童養護施設関係者や卒園生の声から生まれたものです。



### 活動者の声

うで きたし  
傳田 清さん

(長野県社会福祉協議会 ミニバイト事業担当者)

若者へ希望と自信を届けたい!  
スマホ1台で世界と繋がる時代、その反面でリアルな人の「つながり」・生きる「チカラ」が薄まっています。施設で生活している多くの若者は、支えてくれる家庭がないため、在園中から地域へ帰る準備を行い、一人で生きていく強さも手に入れなくてはなりません。若者の心には、自分に何ができるのか?何が好きなのか?お金を稼げるのか?多くの期待

と不安が混同しています。なかには虐待を受けたトラウマにより、自分の可能性にフタをして、心を閉ざして苦しんでいる若者もいます。そんな若者たちのためにミニバイト(就労体験)により、多種多様な経験を積むハードルを下げ、自分の「強み」を発見することができれば、一生使える大きな武器・自信になります。応援をぜひお願いします!

この活動はこの団体が  
主催しています

振込用紙を  
持って郵便局へ!

インターネットでの  
寄付受付は  
こちらから



募金  
受付期間

2023年1月1日  
から  
3月31日  
まで

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会  
社会的養護出身の若者サポートプロジェクト事務局

長野市中御所岡田98-1  
TEL:026-226-1882 FAX:026-227-0137  
E-mail:wakasapo@nsyakyu.or.jp